



## 長瀬町小中一貫教育検討委員会の第5回会議を開催しました

長瀬町小中一貫教育検討委員会の第5回会議を令和7年6月25日（水）に開催しました。

今回の会議では、令和7年3月18日（火）に開催された研修会での内容や、各委員からの質問など振り返りを行いました。また、令和7年5月16日（金）、11名で坂戸市立城山学園の視察を行いました。また、5月21日（水）9名で日高市立武蔵台小中学校の視察を行い、各委員からの感想や意見が出されました。

☆小中一貫になって校庭で小学生と中学生と一緒に遊んだり、危険ではないかと先生に聞いてみたところ、特に大きな事故とか報告は受けてませんという回答でした。実際、校舎の中で小学生の小さい子や、中学生の大きな子がいたり、一緒に空間で危ないかと思っただけでしたが、そういったこともなく、こうして視察し実際に見てみないと判らなかったこともあったので視察してよかったです。

☆坂戸市立城山学園は、小学校と中学校が一体で、生徒と児童と一緒に活動しており、上級生の生徒が下級生の児童の良い見本になっていたり、一緒に生活によるいい面が非常に出ていないかなという風に感じました。

☆学校の印象は子供たちもとても明るく穏やかで、仲の良い学校というイメージを強く感じました。また、地域の方が学校の子どもたちをとても大事にしていました。視察した時も、地域のご高齢の皆さんが学校の清掃活動であったり、植栽だったり一生懸命にされていた姿が非常に印象に残っていて、地域ぐるみで学校を大切にしている、本当に良い学校だなという感じが強くしました。

☆学校の形態として、「小中一貫型の小中学校」と「義務教育学校」で何が違うのか。と思っただけでしたが、実際、ほとんど変わらないのではないかと思います。どちらの学校も、校長先生と教頭先生のお話から、とても教育に対して熱意をすごく感じられ、子供たちの教育に関していえば、長瀬町は人口も少なく子供の数も減少していく中で、小中一貫教育で一つの学校を造るということは、それだけ子どもたちに対して目が届く教育が出来るので、子どもたちにとっても良い環境になるのではないかと思います。

☆小中一貫教育で、一つの学校にした場合、小学校の先生、中学校の先生などいろいろな人が関わって子供を見ているので、そういった面では今問題になってる「中一ギャップ」や「不登校」だとかに対する、生徒指導、教育相談の面では対応がスムーズにできるのではないかと思います。



## 坂戸市立城山小・中学校視察のようす



### 【小中一貫型の小学校中学校】

坂戸市の城山小・中学校は元々あった城山中学校の校舎を活用した施設一体型小中一貫校。中学校教員が5・6年生の授業を行う教科担任制など、子どもたちに中学校教員に慣れてもらうことで中一ギャップ対策に繋がっているとのことでした。入学式・卒業式や、運動会・音楽会など1年生から9年生全校で行っていて、小学生5年生から部活動へも参加しているそうです。施設一体型の為、中学生が小学生の良いお手本になっているということでした。

## 日高市立武蔵台小中学校視察のようす



### 【義務教育学校】

小学校の文化、中学校の文化がある中で組織が二つだとやりにくい、一人の校長、一つの組織として学校をまとめ上げようということで義務教育学校としたとのこと。運動会は1年生の種目の時は9年生が補助にあたるなど様々な行事において、よい環境作りができています。制服は自由で、卒業式や入試の服装のTP0について、子どもたちと考えたり、保護者には負担軽減のため低コストの制服のようなものを提案したりしているとのこと。

両市の校長先生や各教育委員会の職員の方から説明をいただき、校舎の見学を行いました。



※この検討委員会だよりは、小中一貫教育の検討状況等について、町民の皆さまにお知らせするために発行しています。会議資料等については、町ホームページをご覧ください。

検討委員会事務局（長瀬町教育委員会）

